

2026年4月20日

各位

薬物動態談話会 演習セミナーのご案内

拝啓 新緑の候、皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。さて、2026年度・演習セミナーの開催につきまして、以下にご案内申し上げます。

— 記 —

日時：2026年6月26日（金）10：00～17：40（9：30～受付開始）

会場：TKP 渋谷長井記念ホール（日本薬学会長井記念館 長井記念ホール A-B）

参加方法：参加申込みは、直接事務局（野本/高野）に E-mail でご連絡ください。

費用：非会員企業：¥30,000/名、大学・病院・規制当局：¥12,000/名、学生：¥6,000/名

定員：10名程度（1社で複数名参加希望の場合は、優先順位をつけて下さい）

案内：

1. 演習セミナーのご案内とプログラム
2. 参加申込みと参加費振り込みに関するお願い
3. 会場案内図



薬物動態談話会 事務局

野本 眞博 / 高野 泰樹

Meiji Seikaファルマ株式会社

〒104-8002 東京都中央区京橋2-4-16

TEL：080-5658-9002 / 080-5455-6973

E-mail: masahiro.nomoto@meiji.com / hiroki.takano@meiji.com

各位

演習セミナーのご案内

【体内動態の変動要因を考慮した薬物動態の実践的解析を目指して】

薬物動態談話会では、薬物動態の基礎を実践的に理解するための『演習形式のセミナー』を2014年より開始し、特に医薬品の研究開発の現場における薬物動態解析の基礎的概念および解析手法を網羅的に習得することを主目的として、毎年開催しております。

2022～2024年度においては、薬物動態解析について様々な視点から体系的かつ実践的に知識と技能を習得することを目指して、3カ年シリーズでの開催をいたしました。毎年多くの方にご参加いただき好評を博したことから、前回シリーズを基本としつつ、演習の方式と内容を若干アップデートして、新たな3カ年シリーズを昨年より開始しました。

このシリーズでは、Bottom up、Top down 両方の視点から薬物動態解析の基礎的概念および解析手法を体系的に体得することを目的としていることから、各回の内容は相互に関連しています。3回の演習に連続して参加することで、医薬品の非臨床から臨床に至る様々なステージごとに得られる情報に基づいた様々な薬物動態の解析手法と意思決定について、より網羅的かつ立体的に理解できるようになることを目指しています。ただし、演習の内容は年度ごとに独立しており、単年度でご参加いただいても、十分に学習効果のある講義・演習内容となっています。

また、本シリーズは、従来型の低分子化合物の薬物動態解析を題材とはしていますが、近年増加しているニューモダリティの薬物動態解析の戦略を構築する際においても、基盤となる知識や技能は共通する部分も多いことから有益であると考えています。

初年度（2025年）：加藤 将夫 先生（金沢大学）

「DDI 予測のための拡張型クリアランス概念の理解と数理モデルの構築」

2年度（2026年）：前田 和哉 先生（北里大学）

「体内動態の変動要因を考慮した薬物動態の実践的解析を目指して」

3年度（2027年）：山下 富義 先生（京都大学）

「母集団薬物動態解析へのいざない —R で学ぶ確率・統計の基礎から—」（仮）

今年度は新3カ年シリーズの2年目として表記タイトルに示す内容を企画しました。「体内動態の変動要因となる異物解毒系分子の遺伝子多型や薬物相互作用、special populationなどの情報に基づき、薬物動態のstaticな解析や数理モデルを用いるdynamicな解析にどのように反映させるか？」を、過去の論文で行われた解析事例などを活用しながら、参加者の皆さまご自身で実践していただくことを目指します。また、数理モデル解析の時に、どうしてもネックになる未知変数が多く存在する際の対処法の一つである Cluster Gauss-Newton 法を用いたパラメータ推定についても実体験していただく予定です。加えて、限られた in vitro 実験やヒト臨床試験から得られる情報から、

薬物動態をより深く考察できる力を養うことを目的として、small group discussion (SGD) の機会も設け、より実践的に薬物動態解析を使いこなせるようになるための素地を身につけていただくことを期待しています。

以上、本演習では、参加者一人一人がステップを踏んで学ぶことができるような問題形式を取り入れると共に、SGD 討議なども取り入れ、お互いの考えを言葉とデータで共有する経験もしていただけるよう考えています。

さらに、主任講師の前田 和哉 先生（北里大学）の他、指導講師として伊藤 悠子 先生（佐藤製薬）、苫米地 隆人 先生（北里大学）、野崎 芳胤 先生（エーザイ）、橋本 芳樹 先生（東京大学）、また指導サポーターとして中村 圭一朗 先生（北里大学）に参加していただき、演習中の疑問にその場で個別対応することで、参加者一人一人のレベルに応じたきめ細やかな指導を目指しています。

また、一部の事前課題については、当日のSGD等演習を共に行うグループごとに事前にオンラインでグループディスカッションをしていただくことを予定しております。これは、本演習までにテーマについての理解を深め、また、事前にグループメンバーと面識を得ておくことで、当日のSGDをより活性化することを目的としています。

本セミナーは、以下の対象者を想定しています。

- (1) 大学あるいは企業で、薬物動態解析を数年間程度経験し、ある程度の薬物動態学の基礎は理解しているが、クリアランスの概念や IVIVE の基礎的な考え方を改めてしっかりと学び、今後の業務に活用したいと考えている方。
- (2) 大学あるいは企業で、薬物動態の実践的な解析経験があるが、多様な薬物動態の予測法や数理モデルの構築法について、日頃から疑問に思っていたことを系統的に学ぶことにより、ステップアップしたいと考えている方。
- (3) 薬物動態解析に関する実務経験はないが、事前学習等で当日の講義内容の概要の理解、および SGD 等議論に参加する意欲を持っている方。

なお、これまでは、談話会会員のみを対象としておりましたが、今回会員以外の皆様にも若干名ご参加いただける形で実施します。

参加に当たってご準備いただくもの、注意事項など

<PC について>

- ✓ 参加される皆様には、Microsoft Excel の表計算ソフトおよび R がインストールされたノートパソコンをご用意ください。Excel については、後日配布する解析用ファイルのマクロが正常に起動するように、予め Excel 側の設定を確認しておいてください。R のインストールについては、ご所属先の IT 部門等と連携してご自身で対応をお願いします。また、後日連絡する Cluster-Gauss Newton 法を実践するために必要な R パッケージについても、予めインストールをお願いします。参加者には、事前配布される Excel マクロおよび Cluster-

Gauss Newton 法の R スクリプトの動作確認用の簡単なコードを事前に Run していただき、期待される結果が出ることを当日までに確認して頂きます。もし、期待通りの結果が得られない場合は事前に事務局まで連絡してください。後述の事前意見交換会の際にも、テストランの状況を参加者間で共有、確認をお願いいたします。

- ✓ TKP 渋谷長井記念ホール（日本薬学会長井記念館 長井記念ホール）が提供する Wi-Fi 接続下でのインターネット利用が可能であることが望ましいです。当日、スライドファイルを前方に映写しますが、文字が小さく見にくい場合に備えて、Zoom を併用して、参加者各自の PC でもスライドを確認できるようにします。あいにくホール内は一般の電波環境が悪いため、ポケット Wi-Fi やテザリングでのインターネット接続ができません。ご所属先の PC を使用される場合は、いわゆる公共 Wi-Fi への接続の可否について、事前にご所属先の情報システム部門等の PC 管理部門にご確認ください。接続のためのパスワードは当日開示します。
- ✓ セミナー当日は、PC の使用時間が長くなる見込みのため、使用するノート PC への追加充電ができるような機器をできるだけご用意ください。AC 電源はご用意できますが、コンセント口数に限りがありますので、譲り合っごご利用ください。

< 講義資料、事前学習について >

- ✓ 演習当日のグループワークを行うグループ分けを 5 月 22 日頃にご連絡予定です。また、講義と演習内容が記載された資料は 5 月 27 日頃に配信予定です。その際に、事前に学習して頂きたい内容もあわせてご連絡させていただきます。当日の十分な演習時間の確保と参加者皆様の理解度向上のため、事前学習を行った上でご参加ください。
- ✓ 演習当日は、各自の PC を用いた問題演習およびグループワークを中心に行います。当日の議論を円滑に行っていただくために、演習当日までにグループ内でのメンバー間のコミュニケーションの構築を目的とした事前意見交換会（グループごとにオンラインでのディスカッション）を行って頂きます。その中で、事前学習で分からなかった部分や疑問点をグループ内で取りまとめていただき、演習当日に先立ち事務局に共有ください。講師の先生方にその内容を事前に共有させていただくことにより、演習当日にその部分をより重点的にレクチャーしていただくことを計画しております。

< 申込みについて >

- ✓ グループワークや指導講師による個別指導の十分なキャパシティの確保を考慮して、募集人数は、薬物動態談話会会員外からの参加含めて全体で 50 名程度とさせていただきますので、お早目に申し込みください。
- ✓ 申込み締め切りは、**5 月 15 日（金）**です。なお、なるべく多くの会員企業の方にご参加頂きたいと考えておりますので、1 社で複数名の参加を希望され

る場合は、社内で優先順位をつけてください。申込者が多数の場合は、優先順位を考慮に入れて参加者を選定し、早めに締め切らせて頂く場合もありますのでご了承ください。

2026年4月20日 薬物動態談話会会長
玉井 郁巳

【薬物動態談話会 6月演習セミナー プログラム】

テーマ：

「体内動態の変動要因を考慮した薬物動態の実践的解析を目指して」

日時：2026年6月26日（金）10:00～17:40（9:30～受付開始）

会場：TKP 渋谷長井記念ホール（日本薬学会長井記念館 長井記念ホール A-B）

主任講師：前田 和哉 先生（北里大学）
指導講師：伊藤 悠子 先生（佐藤製薬）
指導講師：苫米地 隆人 先生（北里大学）
指導講師：野崎 芳胤 先生（エーザイ）
指導講師：橋本 芳樹 先生（東京大学）
サポーター：中村 圭一郎 先生（北里大学）

10:00～10:10 講義の趣旨、流れの説明など（前田先生）

10:10～11:20 セッション1（演習（事前課題を含みます））
「薬物動態解析を实践する上で身に付けておきたい基礎」
（昨年度の復習も兼ねます）

11:20～12:20 昼食

12:20～13:40 セッション2（ミニ講義および演習）
「体内動態解析における各種変動要因の考慮の仕方」

13:40～15:00 セッション3（ミニ講義および演習）
「数理モデル解析における多パラメータ決定問題を解決する Cluster Gauss-Newton 法の実践」

15:00～15:15 休憩

15:15～17:20 セッション4（ミニ講義および SGD）
「薬物動態面からの実践的な decision making の実践」

17:20～17:40 SGD の成果物発表および総合討論

※当日は、Microsoft Excel（マクロ使用可）および R がインストールされたノートパソコンを各自お手許にご用意ください。

参加申込みと参加費の振込みに関するお願い

【参加登録に関する注意事項】

- ✓ 申込み締め切りは5月15日（金）です。**募集人数は10名程度**とさせていただきますので、お早めに申し込み下さい。
- ✓ 参加登録していただいた方には、メールにて非会員企業：¥30,000/1名、大学・病院・規制当局：¥12,000/1名、学生：¥6,000/1名の振込先をご案内します。開催日までにお振込みください。
- ✓ 1社で複数名参加希望される場合は、社内で優先順位をつけてください。
- ✓ **ご参加の申込みは事務局の2名（野本/高野）にE-mail**でお願い致します。
- ✓ お申込みの際に、以下の項目についてご連絡ください。

1. ご所属*；
2. お名前（フリガナ）；
3. メールアドレス；
4. 電話番号；
5. 入社後年数；
6. 入社後の研究内容（差し支えない程度で簡潔にお願いします。）；
7. ヒトPK予測に関する業務を日常的に行っているか；

*：一社で複数名参加希望される場合は、1.の所属名の後に、（）内に参加者の優先順位を記載ください。

（例）1. ○○○株式会社（1）

- お問い合わせ先（薬物動態談話会 事務局）
野本 眞博 / 高野 泰樹（Meiji Seika ファルマ株式会社）
E-mail：masahiro.nomoto@meiji.com / hiroki.takano@meiji.com
TEL：080-5658-9002 / 080-5455-6973

お願い：各種のお問い合わせは、E-mailでお願い致します。

以 上

会場案内図

TKP 渋谷長井記念ホール（日本薬学会長井記念館、東京都渋谷区渋谷 2-12-15）

TEL : 03-3406-3326

アクセス

◆鉄道：

JR 山手線、東急東横線、東急田園都市線、京王井の頭線、東京メトロ銀座線・半蔵門線・副都心線の渋谷駅下車

◆徒歩：

JR 渋谷駅東口より、高樹町方面へ高速道路 3 号線沿いに 8 分

◆都バス：

JR 渋谷駅東口、「学 03 日赤医療センター行き」1 つ目「渋谷 3 丁目」下車すぐ

※車でのご来場はご遠慮ください。

